

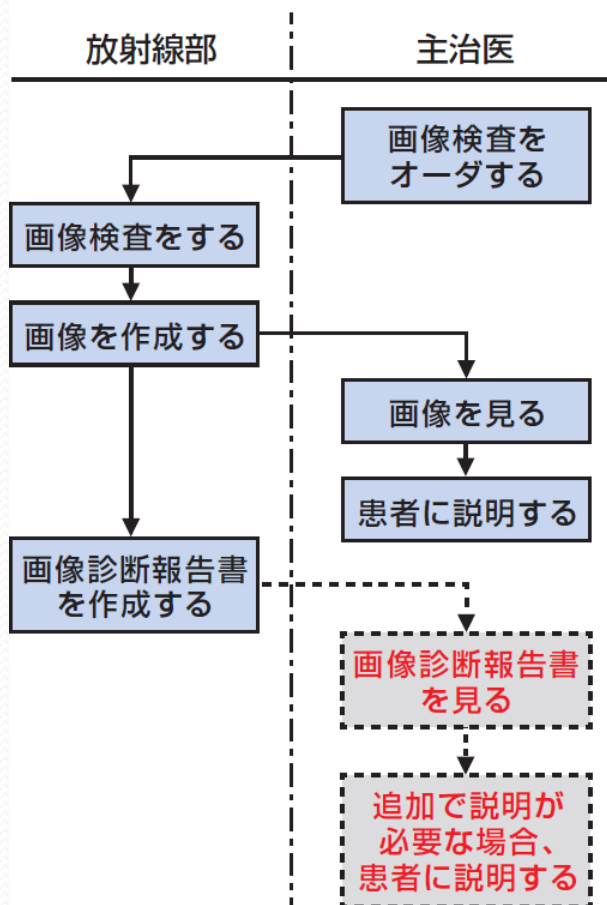
京大病院医療安全情報103

【画像診断報告書の確認忘れ】

確認忘れは、「失念」タイプのヒューマンエラーです。
失念エラー対策の基本は、「失念をお知らせすること」です。
日本医療機能評価機構からも、下記の医療安全情報が発行されています。

画像を確認した後、画像診断報告書を確認しなかったため、検査目的以外の所見に気付かず、治療が遅れた事例が報告されています。

画像検査の流れの一例



京大病院でも発生しています

画像診断報告書を確認しなかった主な背景

画像で検査目的の部位を見て患者に説明した際、画像診断報告書が作成されておらず、その後見るのを忘れた

画像診断報告書を見る習慣がなかった

CT検査とMRI検査を同時期に行い、MRI検査の結果で診断が確定できたため、CT検査の画像診断報告書を見なかった

専門領域の読影に自信があり、画像診断報告書を見なかった

前年の同月の画像診断報告書を当日の報告書だと誤認した

◆37件のうち、36件がCT検査の事例です。

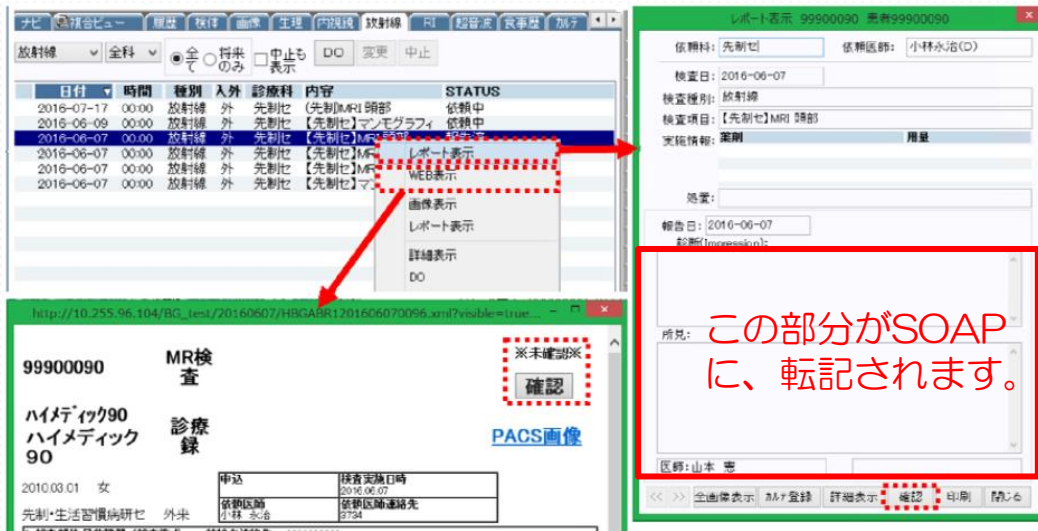
インシデント報告に基づいた対策です

京大病院医療安全情報103

【報告書確認未読の場合に通知します】

Step1. 未読・既読管理 報告書を読んだら「確認」登録を！

カルテのSOAPに「診断」と「所見」が転記されます。



Step2. 未読報告書はオーダー医と診療科に通知され続けます。

①オーダー医への通知

【読影レポート未確認時のアラート院内メール①：オーダー医に対して】

30日前、60日前、90日前、120日前、150日前、180日前の未読レポートがあれば、以下の院内メールがオーダー医に対して送られます。

2018年6月1日以降の読影レポートが対象となります。

※日数は今後変更する可能性があります。

タイトル***

[オーダー種ごとの名称 (例: 放射線)]未読レポートのお知らせ

本文***

以下の[オーダー種ごとの名称 (例: 放射線)]レポートが[xxx]日間未読状態です。ご確認ください。

患者ID : [xxxxxxx]
 患者氏名 : [OO]
 検査名 : [OO]
 検査日 : [yyyy/mm/dd]
 報告日 : [yyyy/mm/dd]

各診療科別の未読数一覧を
 病棟医長・外来医長会議で
 お知らせします。

②診療科（外来・病棟医長）への通知

【読影レポート未確認時のアラート院内メール②：診療科に対して】

月初めに以下の院内メールが診療科に対して送られます。どの診療科のものに誰に送るかはマスタで設定します。外来がん診療部に関しては、オーダー診療科に振り分けられます。

2018年6月1日以降の読影レポートが対象となります。(6か月以上古いものは対象外となります。)

※期間は今後変更する可能性があります。

タイトル***

[診療科ごとの名称 (例: 呼吸器内科)]の[オーダー種ごとの名称 (例: 放射線)]レポート未読状況([yyyy/mm/dd])[O]通目

本文***

30日以上、未確認のままになっている[オーダー種ごとの名称 (例: 放射線)]レポートの一覧を送付します。ご確認ください。

オーダー医師名	患者 ID	患者氏名	検査日	報告日	検査名
[OO]	[xxxxxxx]	[OO]	[yyyy/mm/dd]	[yyyy/mm/dd]	[OO]
[OO]	[xxxxxxx]	[OO]	[yyyy/mm/dd]	[yyyy/mm/dd]	[OO]
[OO]	[xxxxxxx]	[OO]	[yyyy/mm/dd]	[yyyy/mm/dd]	[OO]
[OO]	[xxxxxxx]	[OO]	[yyyy/mm/dd]	[yyyy/mm/dd]	[OO]
[OO]	[xxxxxxx]	[OO]	[yyyy/mm/dd]	[yyyy/mm/dd]	[OO]
[OO]	[xxxxxxx]	[OO]	[yyyy/mm/dd]	[yyyy/mm/dd]	[OO]
[OO]	[xxxxxxx]	[OO]	[yyyy/mm/dd]	[yyyy/mm/dd]	[OO]
[OO]	[xxxxxxx]	[OO]	[yyyy/mm/dd]	[yyyy/mm/dd]	[OO]

※タイトルの『[O]通目』は量が多く、複数通に分ける必要がある場合、表示します。

また、最後の院内メールは『[O]通目 (最後)』と表示します。

※オーダー医師名でソートします。

くわしくは下記ホームページを御参照ください
<http://kingsupport.kuhp.net/manual/20180530-1/>